



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	中村町住宅(仮称)建替工事	階数	地上5F
建設地	横浜市南区中村町3丁目211番16号	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年11月 予定	評価の実施日	2022年12月16日
敷地面積	2,273 m ²	作成者	(株)エネ・グリーン 定森 淳一
建築面積	689 m ²	確認日	2022年12月16日
延床面積	2,832 m ²	確認者	株式会社 田辺設計 風呂迫 泰寛



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.0 ★★★★★★☆☆☆☆

S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B+: ★★★★★★ B: ★★★★★★ C: ★★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 74%
③上記+②以外の 74%
④上記+ 74%

目標値: 46 (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 4.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.2

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項

総合		その他
断熱等級5で省エネルギー性能に配慮した。 ライフサイクルCO ₂ 排出量を7.4%に削減し、ヒートアイランド対策に努めた。		特になし。
Q1 室内環境 内装材はF☆☆☆☆を使用し、室内の空気質環境に配慮した。	Q2 サービス性能 ・防災備蓄品等が収納できるスペースが確保し、災害時に使用可能に配慮した。 ・劣化等級3で、建物の耐久性・信頼性に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 地域住民がゲートボールの競技利用できる形状とした児童遊園や、歩道状スペースを計画し、地域の住民や子供が集える場所を計画した。
LR1 エネルギー 断熱等級5で省エネルギー性能に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 躯体材料以外にリサイクル材を多用し、省資源化に配慮した。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出量を7.4%に削減し、ヒートアイランド対策に努めた。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■ LCO₂の算定条件等については、「LCO₂算定条件シート」を参照されたい



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 **中村町住宅(仮称)建替工事**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving		重点項目への取組(5点満点)	【省エネルギー性能】	5
■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)				
この建物の設計一次エネルギー消費量		28	%削減	
		一次エネルギー消費量基準	適合	
		外皮基準	適合	
		受付日	2022年12月21日	
■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)				
①断熱等級5				
③LED照明を採用				
健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community		重点項目への取組(5点満点)	【健康・安心】	5
■室内環境対策 (⑤外皮性能)				
◆断熱等性能等級 等級4を超(相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による				
■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)				
⑥内装材及び天井裏の材料はF☆☆☆☆を使用している。				
■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)				
◆工夫の有無 なし				
防災への配慮 (R) Resilience		重点項目への取組(5点満点)	【防災】	3
■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)				
⑰防災備蓄品等が収納できるスペースが確保されている。				
地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape		重点項目への取組(5点満点)	【地域・まちづくり】	3
■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)				
⑲西側道路側に、歩行者の目線に合わせた花壇を設置し、緑化景観に配慮した。				
⑳敷地内の児童遊園は、地域住民のゲートボールの競技利用に配慮し、形状と仕上がを整えた。				
太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)			

エネルギーマネジメントシステム導入				



CASBEE横浜2022年版v.1.1
中村町住宅(仮称)建替工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.1

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質										3.4
Q1 室内環境										4.0
1 音環境				3.0	0.15	3.0	1.00			3.0
1.1 騒音				3.0	0.50	3.0	0.50			-
1.2 遮音				3.0	0.50	3.0	0.50			-
1	開口部遮音性能			3.0	1.00	3.0	0.30			-
2	界壁遮音性能			-	-	3.0	0.30			-
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	3.0	0.20			-
4	界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	3.0	0.20			-
1.3 吸音				-	-	-	-			-
2 温熱環境				2.0	0.35	5.0	1.00			4.7
2.1 室温制御				3.0	0.50	5.0	1.00			-
1	室温	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.63	-	-			-
2	外皮性能	快適・働きやすさ 健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.38	5.0	1.00			-
3	ゾーン別制御性	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	-	-	-	-			-
2.2 湿度制御				1.0	0.20	-	-			-
2.3 空調方式				1.0	0.30	-	-			-
3 光・視環境				2.6	0.25	4.0	1.00			3.8
3.1 昼光利用				1.8	0.30	4.0	0.50			-
1	昼光率	快適・働きやすさ	⑩光環境	1.0	0.60	5.0	0.50			-
2	方位別開口	快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	3.0	0.30			-
3	昼光利用設備	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.20			-
3.2 グレア対策				3.0	0.30	4.0	0.50			-
1	昼光制御	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	1.00	4.0	1.00			-
3.3 照度				3.0	0.15	-	-			-
3.4 照明制御				3.0	0.25	-	-			-
4 空気質環境				4.0	0.25	3.8	1.00			3.8
4.1 発生源対策				4.0	0.60	4.0	0.63			-
1	化学汚染物質	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	4.0	1.00	4.0	1.00			-
4.2 換気				4.0	0.40	3.6	0.38			-
1	換気量	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	5.0	0.50	3.0	0.33			-
2	自然換気性能	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	5.0	0.33			-
3	取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33			-
4.3 運用管理				-	-	-	-			-
1	CO ₂ の監視	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-			-
2	喫煙の制御	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-			-



CASBEE横浜2022年版v.1.1
中村町住宅(仮称)建替工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.1

スコアシート		実施設計段階		重点項目				
配慮項目		<非住宅> <集合住宅>		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
				評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q2 サービス性能				2.8	0.30	-	-	2.8
1 機能性				4.0	0.40	2.6	1.00	2.6
1.1 機能性・使いやすさ				4.0	0.40	3.0	0.60	-
1	広さ・収納性	快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-
2	高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	3.0	1.00	-
3	バリアフリー計画	快適・働きやすさ	⑫機能性	4.0	1.00	-	-	-
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40	-
1	広さ感・景観	快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	3.0	0.50	-
2	リフレッシュスペース	快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-
3	内装計画	快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	1.00	1.0	0.50	-
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-	-
1	維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-
2	維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-	-
1	耐震性	防災	⑮耐震・免震	3.0	0.80	-	-	-
2	免震・制振性能	防災	⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.3	0.30	-	-	-
1	躯体材料の耐用年数	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-	-
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-	-
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.10	-	-	-
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-	-
6	主要設備機器の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性				3.0	0.20	-	-	-
1	空調・換気設備	防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
2	給排水・衛生設備	防災	⑰信頼性	4.0	0.20	-	-	-
3	電気設備	防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
4	機械・配管支持方法	防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
5	通信・情報設備	防災	⑰信頼性	2.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性				3.0	0.30	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり				-	-	2.6	0.50	-
1	階高のゆとり			-	-	3.0	0.60	-
2	空間の形状・自由さ			-	-	2.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり				-	-	3.0	0.50	-
3.3 設備の更新性				3.0	1.00	-	-	-
1	空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	-
2	給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	-
3	電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	-
4	通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	-
5	設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	-
6	バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	-



CASBEE横浜2022年版v.1.1
中村町住宅(仮称)建替工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.1

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	<非住宅> <集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	3.2
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり ⑩生物環境の保全と創出	2.0	0.30	-	-	2.0		
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり ⑨まちなみ・景観への配慮	4.0	0.40	-	-	4.0		
3 地域性・アメニティへの配慮		3.5	0.30	-	-	3.5		
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり ⑫地域性への配慮	4.0	0.50	-	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ ⑬敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.8		
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	4.4		
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能 ①建物の熱負荷抑制	5.0	0.20	-	-	5.0		
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能 ②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	3.0		
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能 ③設備システムの高効率化	5.0	0.50	-	-	5.0		
4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0		
集合住宅以外の評価		-	-	-	-	-		
4.1 モニタリング	省エネルギー性能 ④効率的運用	-	-	-	-	-		
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能 ④効率的運用	-	-	-	-	-		
集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	-		
4.1 モニタリング	省エネルギー性能 ④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-		
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能 ④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.4		
1 水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4		
1.1 節水		4.0	0.40	-	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	-		
2 雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減		3.6	0.60	-	-	3.6		
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		5.0	0.20	-	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		5.0	0.20	-	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20	-	-	3.0		
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	-		
1 消火剤		-	-	-	-	-		
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	-		
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	-		
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.4		
1 地球温暖化への配慮		4.0	0.33	-	-	4.0		
2 地域環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0		
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-		
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-		
2 污水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-		
3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-		
4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-		
3 周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-	3.2		
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	-		
1 騒音		3.0	1.00	-	-	-		
2 振動		-	-	-	-	-		
3 悪臭		-	-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	-		
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-		
2 砂塵の抑制		-	-	-	-	-		
3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	-		
3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-	-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		5.0	0.70	-	-	-		
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-		
上記以外の重点項目				-	-	-		
<事務用途>				-	-	-		
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ ⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-	-		
<住宅用途>				-	-	-		
健康と安心				-	-	-		
1 化学汚染物質の対策	健康・安心 ⑥健康対策	5.0	-	-	-	-		
2 適切な換気計画	健康・安心 ⑥健康対策	3.0	-	-	-	-		
3 結露・カビ対策	健康・安心 ⑥健康対策	3.0	-	-	-	-		
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心 ⑦防犯対策	3.0	-	-	-	-		